

桐光会へのお礼メッセージ(2025 年度秋学期)

#1

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭はひとり親家庭のため学費の負担が大きく、大学生活を送りながら経済的な不安を抱えておりアルバイトを2つ掛け持ちしているような厳しい経済状況だったため、今回奨学金を申請いたしました。奨学金のご支援をいただくことで、アルバイトではなく、学業に集中することができ、最後まで学生生活を過ごすことができそうです。私は現在、企業から内定をいただいております、来春から社会人として新しい一歩を踏み出します。大学で学んだ心理学の知識を活かし、より良いサービスや環境づくりに貢献したいと考えており、将来的には働きやすさを支えるお仕事に携わることが目標で、社会人になっても学ぶ姿勢はそのままに少しでも早く会社や社会に役立てる人材になれるよう取り組んでまいります。この度のご支援に恥じぬよう、残された学生生活を有意義に過ごし、未来への一歩を大切に進んでまいります。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#2

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は、母子家庭であり、物価高騰や低収入という理由から生活が苦しい状況でした。私自身も4年次からアルバイトをかけもちしていましたが、精神保健福祉士の実習があり、安定した収入が得られませんでした。また、そのアルバイト代は実習費や国家試験の受験費にあてていたため、生活費にあてることができませんでした。そのような中で4年生まで大学に通わせてくれた母を今以上、負担をかけたくないと思い、今回、申請させていただきました。今回、採用していただけたことで、私自身、金銭面の不安が軽減したため、来年の2月にある社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験に向け、勉学に集中することができます。残りの学生生活では、2資格取得を目指し、勉学に励み、来年の3月に笑顔で卒業できるよう精進していきます。また、大学卒業後は3年次の実習先であった児童養護施設に就職し、こどもたちを支援できるよう努力していきます。最後に、ご支援していただいた桐光会の皆様に感謝しております。国家資格を取得し卒業できるようこれからも努力していきます。改めまして、この度は誠にありがとうございました。

人間福祉学科 奨学生本人

#3

この度は桐光会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。今年の8月に母の癌が判明し、手術のため休職したことにより、家計収入が大きく減少いたしました。幸い、手術は無事成功いたしました。現在も抗がん剤治療が続いており、現時点では復職の見通しが立っておりません。母子家庭で父からの経済的援助は受けておらず、私自身も学業と両立しながらアルバイトに励んでおりますが、現在の医療費を含む支出を補うには十分とは言えません。このような厳しい状況の中、桐光会奨学金のご支援を賜うことで、今後も大学に通い続け、安心して学業に専念できる環境を得られることに、心より感謝申し上げます。桐光会奨

学金によって与えていただいたこの貴重な機会を大切にし、より一層勉学に励む所存です。将来は、いただいたご恩に応えられるよう、医療従事者として多くの方々に貢献できるよう努めてまいります。改めましてこの度は温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

言語聴覚学科 奨学生本人

#4

このたびは、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。今回奨学金を申請した理由は、母の収入が昨年から大幅に減少し、学費や生活費の負担がこれまで以上に重くなったためです。また、学業とアルバイトの両立が難しくなり、このままでは勉強に十分に集中できない状況でした。今回ご支援いただけることで、学業に専念できる時間を確保でき、学修や課外活動にも集中できる環境が整うことを大変ありがたく感じております。奨学金を頂いた後は、授業や資格取得の勉強により力を入れ、大学生活をこれまで以上に充実させたいと思っています。また、学んだことを活かせるよう、学生団体での社会貢献活動にも積極的に取り組み、成長につなげていきます。将来は学んだ知識を活かし、社会に貢献できる職業に就きたいと考えています。大学での学びを通して自分の道を見つけ、社会の役に立てるよう成長していきたいです。今回このような機会をいただけたことに、あらためて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。今回いただいたご支援が無駄にならないよう、これからも真面目に学び続けていきます。桐光会の皆さまの温かいご支援に感謝し、成長した姿をお見せできるよう頑張ります。

社会情報学科 奨学生本人

#5

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。現在、私は母と弟と三人で暮らしており、私と弟はともに私立大学に通っています。そのため、家計に余裕はなく、母の金銭的な負担を少しでも軽くしたいという思いから、奨学金を申請いたしました。私は週二日ほどアルバイトをしています。卒業研究が本格化し、これ以上働く時間を増やすことは難しい状況にあります。今回採用していただいたことで、経済的な不安が軽減され、安心して学業に取り組むことができ、母にも負担が少し軽減されたと感じてもらうことができ、とてもありがたく思っております。卒業後の進路については、すでに不動産会社への就職が決まっております。大学で学んだことを活かし、社会に貢献できる人材となるよう努力していく所存です。また、働きながら母に恩返しができるよう、一つひとつの経験を大切に積み重ねていきたいと考えています。貴奨学金を通して、私が学び続けることを応援してくださる方々がいるという事実、改めて励まされました。いただいたご支援を無駄にせず、学業にも、今後、社会人としての責任にも誠実に向き合い、周囲の人々に支えられていることを忘れずに歩んでまいります。ご支援いただいたことに、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

地域社会学科 奨学生本人

#6

この度は桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。今回、桐

光会奨学金に応募いたしました経緯としては、母が病気により退職したことに伴う家庭収入の減少に加え、給付型奨学金の対象外となってしまったためです。採用のご連絡をいただくまでの間は、金銭的な理由から無事に卒業できるのか不安を抱えておりましたが、このたび採用していただいたことで、安心して残りの授業に取り組むことができるようになりました。今後は、このご支援を胸に、これまで以上に学業に専念するとともに、授業での学びだけでなく資格取得にも挑戦し、自身の成長につなげていきたいと考えています。将来は、大学で学んでいる経営学の知識を活かし、人々が前向きに働ける社会を実現するため、働きやすい組織づくりに貢献できる職に就きたいと考えております。改めまして、このような温かいご支援をいただき、本当に感謝しております。この制度がなければ学びを継続できなかった可能性もあり、支えていただいていることの大きさを日々実感しております。いただいた機会をあたり前と思わず、ひとつひとつの授業や経験を大切にしながら、自分の成長につなげていきたいと考えております。桐光会の皆さまのおかげで今の環境で学び続けられています。このご厚意に応えられるよう、これからも目白大学での学びをしっかりと深めてまいります。

経営学科 奨学生本人

#7

私がこの桐光会奨学金を申請した理由は、両親の収入が低所得であるということと、それに伴い学業と就職準備に集中できるようにしたいという思いからです。現在、両親からの仕送りや支援はもらっておらず、アルバイトや貯金で生活費を賄っており、今回の桐光会奨学金がなければ私も両親と共に学費の一部を支払う予定でした。奨学金採用後は、ある程度のアルバイトの時間を就職準備や卒業制作最終確認の時間にあてることができるだろうと考えております。また、両親も生活に余裕ができて助かっていると申しております。今後は、卒業まで残りわずかなので卒業制作の完成度を上げつつ、就職準備に一生懸命努めて参ります。卒業後、私は日本語教師になりたいと考えております。そのために先月11月、日本語教員試験という国家試験を受けてきました。また、卒業までは目白大学がつくろい東京ファンド様と行っている、難民の日本語学習支援活動である「つくろい日本語教室」というボランティア活動にも参加したり、日本語・日本語教育学科の先生方にも協力いただき、授業のサポーターとして外国人学生に日本語を教えるという機会をいただいて経験を積んでいる状況です。残りの学生期間をアルバイトの時間ばかりにあてることなく、こういった学校での支援活動に参加して経験を増やすことができているのも、この桐光会奨学金の支援があってこそことです。私はこの桐光会奨学金を受け取るのは二度目です。今まで、お金のことを気にして何かを諦めることが多かったのですが、桐光会奨学金のおかげで二年次には留学が実現できましたし、卒業目前の今、支援活動(ボランティア)に参加するというチャレンジができているのだと考えます。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

韓国語学科 奨学生本人

#8

この度は、桐光会奨学金のご支援を賜り、誠にありがとうございます。
私の大学進学に伴い、家族で北海道から引っ越してきました。両親の転職により収入が大幅に減少し、学費を払い続けることが困難な状況となりました。
これまでは貯蓄や受給している複数の奨学金を併せて工面していましたが、その

貯蓄も底をつき、大変厳しい経済状況でした。

私も学業や実習と並行してアルバイトを行ってきましたが、この度の採用により、来年2月に控えている看護師国家試験に向けて、アルバイトの時間を減らし、勉学に集中できる環境を確保することができるようになりました。今後は、いただいたご支援を活かし、より一層国家試験の勉強に専念いたします。そして将来は看護師として地域の医療に貢献できるよう、全力を尽くす所存です。改めまして、この度の多大なご支援に心より感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

#9

このたびは、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。心より深く御礼申し上げます。私は一人親家庭で育ち、これまで学費の面では母に大きな負担をかけてきました。これから、どのように進学後の学費を確保していくか不安を抱えていたところ、今回の奨学金採用のご連絡をいただき、本当に救われる思いでした。奨学金をいただけることで、母の経済的負担が軽減され、私自身も安心して学業に集中することができます。この大きなご支援により、これからの学生生活をより充実させ、知識と技術の習得にこれまで以上に取り組むことができます。私は将来、歯科衛生士として医療現場で患者様に寄り添い、安心と健康を支えられる存在になることを目標にしております。日々の学びを大切にし、技術だけでなく、どのような方にも誠実に向き合える姿勢を大切にし、身につけられるように努力してまいります。そして、今回いただいたご厚意を自らの成長と社会への貢献という形で必ずお返しできるよう努めてまいります。このように温かいご支援をいただけたことを心より感謝申し上げますとともに、将来は私も他の誰かの力になれるような人間になりたいと強く感じております。改めて、このたびは誠にありがとうございました。

歯科衛生学科 奨学生本人

#10

この度は桐光会奨学金のご支援をいただきまして誠にありがとうございました。私が奨学金を申請した理由は、母子家庭で育ったことで家計への負担が大きく、学費や生活費に対する経済的な不安を抱えていたためです。採用の知らせをいただいた際には、今まで抱えていた不安も軽くなり、これからの大学生活をより前向きに歩めるという大きな励みとなりました。金銭的な心配が和らいだことで学業に集中できる環境が整い、日々の授業や課題にもより積極的に取り組めるようになりました。また、精神的な余裕が生まれたことで、自分の将来について深く考える時間も増え、自分の進路に対してしっかり向き合えるようになったと感じています。これまでは現状に対しての不安が多く、将来のことまで考える余裕がありませんでしたが、支援をいただいたことで前向きな気持ちが生まれました。私は将来、自分の選択に責任を持ち、自立した大人として社会に貢献できる人間になりたいと考えています。どのような環境でも自分で判断し、行動し、その結果を受け入れることのできる人間へ成長したいです。今回のご支援はその目標へ進めるための大切な一歩となりました。桐光会の皆様の温かいお心遣いに深く感謝申し上げますとともに、その期待に応えられるよう、これからも努力を積み重ねてまいります。ありがとうございました。

ビジネス社会学科 奨学生本人

#11

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、心より感謝申し上げます。今回申請した理由は、経済的な事情から学費や生活費を自分でまかなう必要があり、学期中も多くの時間をアルバイトに充てていたため、学業に十分な時間を確保できない状況が続いていたからです。採用のご連絡をいただいたとき、今後の大学生活への不安が和らぎ安心しました。桐光会のご支援によって、これまで長時間働いていたアルバイトのシフトを減らし、その分を授業や自主学習に充てるできるようになります。学業に取り組む時間が増えることで、授業内容をより深く理解し、自分の興味のある分野をさらに追究することにも挑戦できると感じています。また、心に少し余裕が生まれることで、大学生活全体に前向きに取り組めるようになると思います。将来は、大学で身につけた知識や経験を生かし、社会で活躍できる人材になりたいと考えています。そのためにも、今回いただいた支援を無駄にせず、より一層努力し、成長していきたいです。改めまして、このような温かいご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。 今後も期待に応えられるよう誠意をもって学業に励んでまいります。

社会情報学科 奨学生本人

#12

私の家庭は母子家庭で、母一人の収入で生活しています。家計に余裕がなく、学費や生活費を補うためにアルバイトを続けてきましたが、学業との両立に負担を感じることがもありました。奨学金をいただくことで母の負担を軽減でき、私自身も学業に集中する時間を確保できると思い応募いたしました。採用していただくことで学費への不安が和らぎ、授業や実習の準備により丁寧に取り組めるようになります。アルバイトとの両立の負担が軽くなることで、学びの質を高められると感じています。今後は、これまで以上に学業に力を入れ、授業や実習を通して保育者として必要な力を丁寧に身につけていきたいと考えています。また、日々の振り返りや自主学習の時間も大切にし、より充実した学生生活を送れるよう努力してまいります。卒業後は保育士として働き、子ども一人ひとりの成長に寄り添える保育士になりたいと考えています。実習を通して感じたやりがい大切に、現場で活かせる力を身につけていきたいです。このたびは奨学金に採用していただき、心より感謝申し上げます。今回のご支援を励みに、今後も学業に真摯に取り組んでまいります。誠にありがとうございます。

子ども学科 奨学生本人

#13

この度は桐光会奨学金を採用していただきありがとうございます。今回桐光会奨学金を申し込んだ理由としましては、両親の仕事が思うように行かず、収入の減少により学納金を払うことに不安がでてしまったため申し込ませていただきました。採用前は学納金のため私自身アルバイトを増やしてお金を集めていましたが、その分学業が疎かになってしまっていました。しかし、採用していただいたので、学業にも再度集中しなおすことができます。また自分のアルバイト代を就活などのためにも使えるようになります。今後は、少し下がってしまった成績を再度学業に力を入れ、戻して参ります。また現在ゼミ長として学校のためとなるよう盛り上げていくよう精進したいと考えております。さらに先ほど申し上げた通り、アルバイト代を

就活のため資格取得などのために回し、自分の身になる使い方をしていきます。卒業後は、目指している営業職に就き、人に寄り添った働き方をしていきたいと考えています。具体的には、保険会社でお客様が困った時に支えとなるような仕事や不動産でお客様が一生涯住ごす家を私とお客様で話し合いを積み重ね、より良い提案ができるようになりたいと考えている。将来は、自分が周りに助けられた分その恩を倍以上に色々な方へ返していけるそんな生活を送っていききたいと思うとともに、目白大学には、学生課、桐光会、キャリアセンターにすごく恩をいただいたのでそちらも返せるよう努力していきます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#14

桐光会奨学金を申請した理由として、現在、私の家庭が深刻な経済的困難に直面していることがあります。父はパーキンソン病を患い入院治療を続けており、これまで行っていた仕事を継続することができなくなりました。さらに、母も膠芽腫の治療に専念しており、日常生活の多くを医療に割かざるを得ないため、就労は困難となっています。このように家族が同時に重い病気と闘っている現状では、医療費や生活費の負担が大きく、学業に必要な費用を自力で十分に賄うことが難しいため、奨学金の支援を強く希望いたしました。採用していただけたことで学費や生活費等に対する不安が軽減され、より落ち着いた環境で学業に集中することができるようになります。また、精神的にも支えていただけることは大きく、家庭の状況に振り回されず、自分の将来のための努力専念できるようになると期待しています。今後の学生生活ではこれまで以上に学習に責任を持ち、臨床現場で求められる知識や技術を着実に身につけられるよう努めてまいります。特に、患者さんへの寄り添い方やコミュニケーションの重要性を深く学び、実習を通して実践的な力を養うことを目標としています。卒業後の進路としては、歯科衛生士として医療現場で働き、患者さんの健康を支える存在になることを目指しています。将来は、高齢者や障害のある方など支援が必要な人々にも寄り添える歯科衛生士になり、地域医療に貢献していきたいと考えています。最後に、桐光会の皆さまには、家庭の事情から将来を諦めずに学び続ける機会をいただけることへの深い感謝を申し上げます。いただいたご支援に恥じぬよう努力を重ね、将来必ず社会へ還元できる人材となることをお約束いたします。

歯科衛生学科 奨学生本人